

佐渡市のALIT

ALIT通信



○ALITって何？

ALITとは「Assistant Language Teacher」の略であり、「外国語指導助手」のことです。現在、佐渡市雇用のALITは9人おり、その内の8人は国のJETプログラムに基づいて招致された青年たちです。

JETプログラムとは、外国語教育の充実と地域レベルでの国際交流の進展を図る目的で創設され、日本と招致国との相互理解、また地域の国際化推進を目指しています。

ALITは、小学校における総合的な学習の時間等の英語活動や中学校における英語授業等に協力しているほか、地域住民参加の英会話教室等にも積極的にかわり、活動しています。

○佐渡市のALIT

「佐渡のすべての子どもたちが外国人ALITとふれ合う機会をもてる」ことを目指して市内すべての小・中学校にALITが巡回指導を行っています。



④渡辺マリ
(女・元JET・佐渡市在住)
加茂小・金井小・金井吉井小



③アレクサンドラ・クレイマー
(女・アメリカ・1年目)
両津吉井小・沢根小・河原田小・八幡小・二宮小・佐和田中



②カサリン・エヴァハート
(女・アメリカ・1年目)
相川小・七浦小・金泉小・高千小・相川中・高千中



①ライアン・ヘルナンデス
(男・アメリカ・1年目)
内海府小・東中・南中・北中・内海府中・前浜中



⑨レイチェル・ジャコブス
(女・アメリカ・1年目)
前浜小・赤泊小・川茂小・小木中・赤泊中



⑧マシュー・ダウنز
(男・アメリカ・4年目)
小木小・深浦小・羽茂小・大滝小・小村小・羽茂中



⑦ジョシュア・ベントン
(男・アメリカ・1年目)
両尾小・河崎小・浦川小・真野小・西三川小・真野中



⑥イライザ・チャン
(女・イギリス・1年目)
畑野小・後山小・小倉小・松ヶ崎小・畑野中・松ヶ崎中



⑤ジャーナ・ハッチンソン
(女・アメリカ・1年目)
両津小・新穂小・行谷小・金井中・新穂中

佐渡市⇔入間市 小中学校で交流学習 ～姉妹都市交流事業～

- 8月1日 前浜中学校生徒24名が入間市立上藤沢中学校を訪問し交流
- 8月4日 入間市立豊岡小学校が来島し、加茂小学校児童24名と交流
- 8月6日 入間市立金子小学校が来島し、新穂小学校児童33名と交流

昭和61年10月12日に入間市と旧両津市が姉妹都市提携を結びました。

学校交流は、昭和63年から隔年でお互いの学校・地域を2泊3日で訪問しています。19年度は、3校それぞれが、交歓会、両校校歌斉唱、レクリエーション、海水浴などで相互理解を深め、充実感を得た児童生徒が多数いました。

初めて佐渡を訪れた金子小学校と交流学習を体験した新穂小学校児童は、最初は緊張した面持ちでしたが、ゲーム形式の自己紹介ですぐに打ち解け合いました。貴重な夏休みの学習は、忘れられない“宝物”になったことでしょう。



世界文化遺産登録に向けて

国・県指定文化財

(四) 史跡鐘楼

○鐘楼の歴史

佐渡奉行所から佐渡版画村美術館・京町へ向かった先、相川八百屋町4番地に建っている鐘楼は、江戸時代に「報時鐘」・「時の鐘」とも呼ばれた建物で、かつては鐘をついて相川の町民に時刻を知らせていました。

時刻を告げる仕組みは、もともと奉行所のなかの大広間に置かれた太鼓の音によるものでしたが、佐渡奉行萩原重秀の指示で正徳2年(1712)に、山之神町で鐘を鑄造し、六右衛門町の丸山にあった広伝寺境



▲鐘楼と旧裁判所のレンガ塀

内に鐘堂を建て、鐘をついて町民に時刻を知らせたのが、佐渡の時の鐘の始まりでした。まもなく、奉行所より遠いことから、現在の相川八百屋町に移され、この際に壊れた鐘を鑄直したといわれています。正徳3年(1713)、越後高田の土肥藤右衛門藤原家次が弟子を連れて来島し、佐渡産の銅を使って下戸の浜で鐘を造り、これを鐘楼に取り付けて、6月6日九ツ(正午)よりつき始めたといわれています。このとき、四丁目浜町に、幕府が長屋を建てて市町とし、この家賃をもって時の鐘の撞料(維持費用)としました。この市町では毎朝市が立ち、四丁目武右衛門という人が長屋の家賃を請負い、鐘撞料はこの人より納められていました。

天保5年(1834)9月の相川の大火によって、鐘楼および鐘撞きの居宅が類焼してしまいましたが、天保6年(1835)8月23日に再建されました。再建にあたって、鐘の音を良くするため、石垣を新しく積み直し、基礎を3尺(約90センチ)高く上げて再建されています。現在残っている建物は、万延元年



▲鐘楼入口

(1860)に改築されたもので、棟札にみえる「棟梁番匠・木嶋甚吉藤原敬親」という人物は、幕末から明治にかけての宮大工であり、相川を代表する建築家の一人でした。こうして造られた鐘楼は、明治初め頃まで、相川の人々に時刻を告げていました。

鐘楼は、佐渡金山遺跡の中の貴重な史跡として、平成6年(1994)5月24日、国史跡に指定されました。平成15年度に保存修理のための解体工事が行われ、現在の姿となりました。現在では、地域の方々によって朝と夕方に鐘がつかれ、佐渡版画村美術館のレンガ塀から京町通りへ向かう相川の町並みの中に風情のある姿を残しています。

○時鐘楼の大きさ

時鐘楼に取り付けられている時鐘は、高さ4尺4寸(133センチ)、厚み3寸2分(9.7センチ)、

外径8尺5寸(258センチ)、口径2尺5寸5分(77.3センチ)、重量約700キログラムといわれ、鐘をつくための木にはシュロの木が使われています。

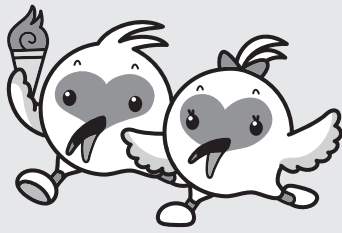
鐘楼は桁行2間(3.06メートル)、梁間2間(3.06メートル)、軒高3.78メートル、棟高5.85メートル、軒面積27.46平方メートル、屋根面積35.70平方メートルで、周囲に袴腰が付けられ、建物周囲に谷積の石垣が巡り、東面の入口前に石段が設けられます。屋根は切妻造りで、修理前は棧瓦葺でしたが、平成15年の修理後は、古い写真に見られる小羽葺に変えられています。

世界遺産・文化振興課

☎27-4170



▲解体工事により取り外された鐘



トキめき新潟国体

平成21年開催

トキはなて 君の力を 大空へ

第64回国民体育大会

No.16

★北信越BCリーグ公式戦・トキめき新潟国体開催記念事業 新潟アルビレックスBCホームゲームが開催されました

始球式 両津エース・藤井君



8月5日サン・スポーツランド畑野野球場で石川ミリオンスターズを迎え、北信越BCリーグの公式戦が行われました。始球式は、高野市長、両津エースキャプテンの藤井君ほか来賓の方が後藤監督を相手に行いました。トキめき新潟国体開催記念事業としてトッキキも国体開催PRのため、始球式の介添えをしました。国体イメージソングの「ガムシャラな風になれ」も皆さんに聞いていただきました。会場には、約1,500人もの観客が集まり、大声援をおくりましたが、試合は残念ながら9対4で負けてしまいました。今後とも、より一層新潟県の野球発展のためにもアルビレックスBCには頑張ってもらいたいものです。

★大分県で開催されたリハーサル大会 と後催県説明会に出席しました

平成20年に佐渡市で開催されるリハーサル大会の全日本教員バスケットボール選手権大会を視察し、後催県説明会および代表者会議に共催市である新潟市と出席しました。37度の猛暑の中、開催された大会は男子は大分市を会場に39チームが参加、女子は中津市と宇佐市を会場に25チームが参加して行われました。(大会の成績等、詳細は<http://www.obba.jp/kyoin/kyoin-m-kekka.htm>をご覧ください) 佐渡市では、国体のリハーサル大会として第38回女子全日本教員バスケットボール選手権大会が平成20年8月9日～12日の4日間の日程で、両津総合体育館・両津小学校体育館を会場に行なわれ、競技役員、競技補助員、競技係員、市民ボランティア等が国体本大会を迎えるためのいろいろな経験を積みます。皆さんも市民ボランティア等の市民運動に参加し、一緒に大会を盛り上げて、大会の成功に向けご協力をお願いします。



▲両津七夕山車パレードにトッキキが激励に訪れました

▲新穂支所前に新たに広告塔を設置しました

皆さん!! 市民ボランティアを募集しています

佐渡市実行委員会では、平成20年に行われるリハーサル大会と平成21年に行われる本大会の競技の運営や花いっぱい運動、会場環境美化活動、受付・案内、駐車場整備、広報活動等競技会を陰で支えるボランティアを募集しています。

詳細は、募集チラシ・国体ホームページか実行委員会事務局にお問い合わせください。

国体ホームページアドレス

http://sougo.city.sado.niigata.jp/kikaku/kokutai/kokutai_index.jsp

